



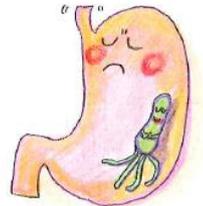
今回のテーマは **ヘリコバクター・ピロリ菌** です。

ピロリ菌とは？

胃に生息している細菌です。名前の由来は「ヘリコ」：らせん、「バクター」：バクテリア(細菌)、「ピロリ」：胃幽門部で、その菌が胃の出口である幽門部から見つかったのが語源です。

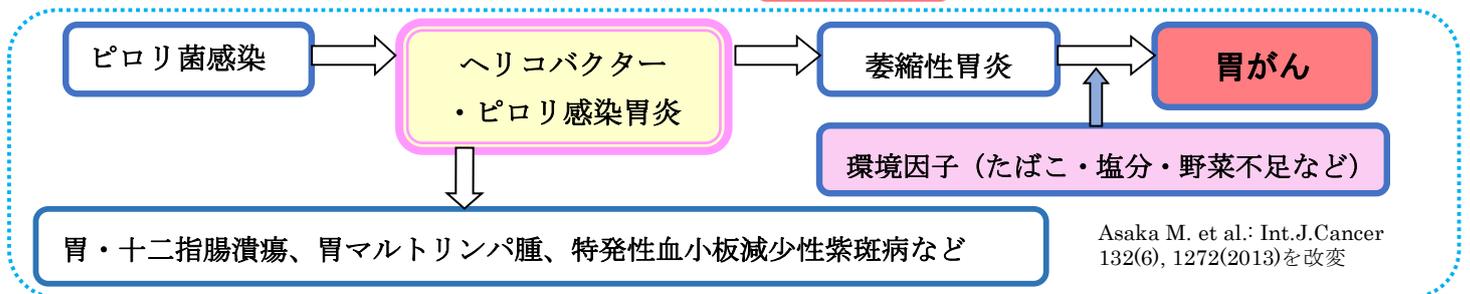
具体的にどんな病気に関係しているの？

日本人の半数程度が**ピロリ菌**に感染していると言われています。若い世代の感染率は下がっています。感染すると、まず「**ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎**」が起こります。



ピロリ菌に感染しても一部の人しか胃潰瘍や胃がんにはなりません。ただし、胃・十二指腸潰瘍の方の8割以上が**ピロリ菌**の感染者であるという報告もあります。また胃がんの方の9割以上は、現在**ピロリ菌**に感染しているか、過去に感染していた方です。

下の図のように、**ピロリ菌**は **胃がん** に強く関係しています。



感染源は？

どのように感染するかははっきりわかりませんが、口から感染するのが大部分であると言われています。

検査方法は？

①内視鏡検査
(胃内視鏡で組織を取って調べます)

②尿素呼気試験法
(吐き出した息を採取して調べます)

③抗体測定法
(血液や尿で抗体の有無を調べます)

④抗原測定法
(糞便中の抗原の有無を調べます)

治療方法は？

除菌の薬を継続して1週間飲むことで7割～8割の方は除菌が可能です。

除菌のメリット

1回で除菌が出来なかった場合、薬を変え再度治療を行ない、約9割の方が除菌出来ます。胃がんの発生を減らせると言われています。除菌した人たちと除菌しない人たちの集団を数年間観察し、除菌した集団からの胃がんの発生が少なかったという報告があります。

除菌のデメリット

- ①胃がんの発生は必ずしもなくなるという訳ではありません。除菌後も内視鏡による定期検査をおすすめします。
- ②除菌の薬で副作用(下痢・軟便、味覚異常、肝臓機能障害、薬疹など)が出る場合がありますので、注意が必要です。
- ③除菌後に逆流性食道炎、体重増加が生じることもあります。

※保険適用で除菌治療を行う場合、胃内視鏡検査を行うことが必須になります。

当院健診センターでは、人間ドック・健康診断時のオプションとして**ピロリ菌**検査を追加することができます。お気軽にお問い合わせください。